

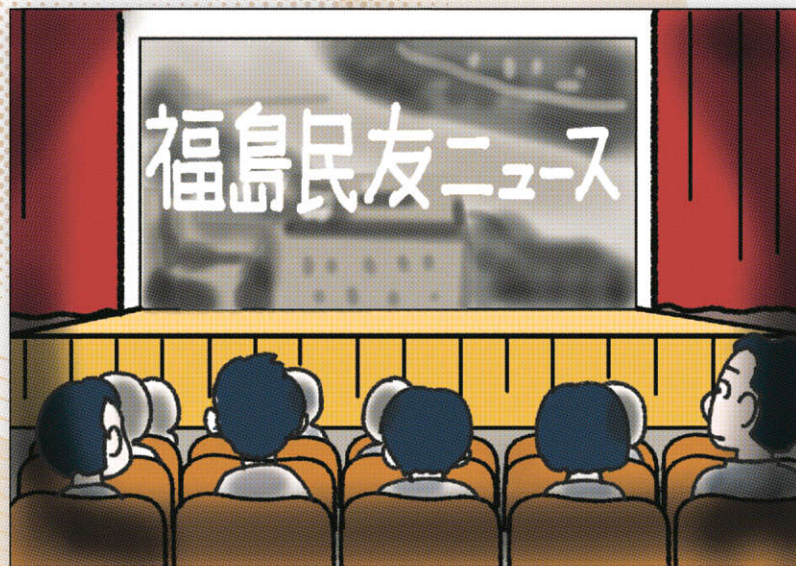
福島の「今」を見つめて 過去から未来へ続く道

HISTORY 福島民友の歴史



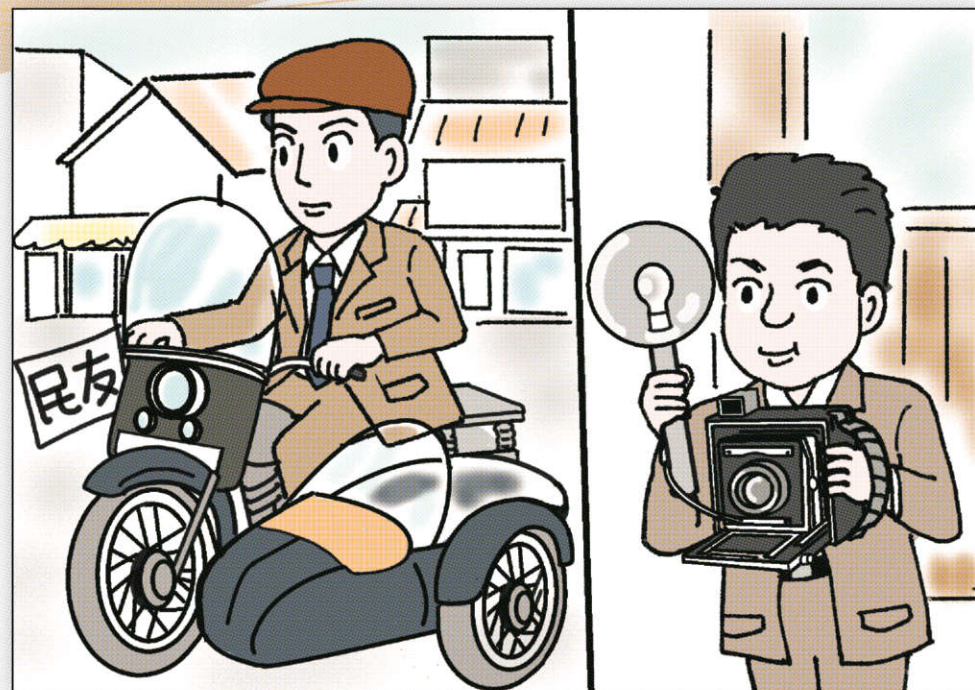
昔の新聞記者

早朝に出勤する県知事を玄関先で待ち受け、夜帰宅した警察署長の自宅に上がり込んで情報を聞き出す。近年は敬遠され気味の「夜討ち朝駆け」と称される取材手法だ。昭和50年代の新聞記者は、アナログな手法で聞き出した情報は、手書きの原稿用紙に書いていた。編集局は一日中、この煙かすで書いた。



映画 福島民友ニュース

県内のニュースや催し物などを35ミリフィルムカメラで撮影し、映画館で上映した。「全国初のローカルニュース映画」と銘打ち、毎月新たなニュースを届けた。県内各地の公民館や学校に貸し出された16ミリフィルムも人気を集めた。昭和28年から47年にかけて製作された民友ニュースは208本に及んだ。



昔のカメラなど機材

昭和30年代まで新聞社のカメラマンが使っていた「スピードグラフィック」カメラ。シャッタースピードが速く、動きが速い被写体にも対応できた。暗い場所での撮影に使ったのが「フラッシュバルブ」という発光電球で、1枚撮影することに電球を交換する必要がある。自動車が少ない昭和20年代には機動力に優れたサイドカー付きバイクも使用していた。

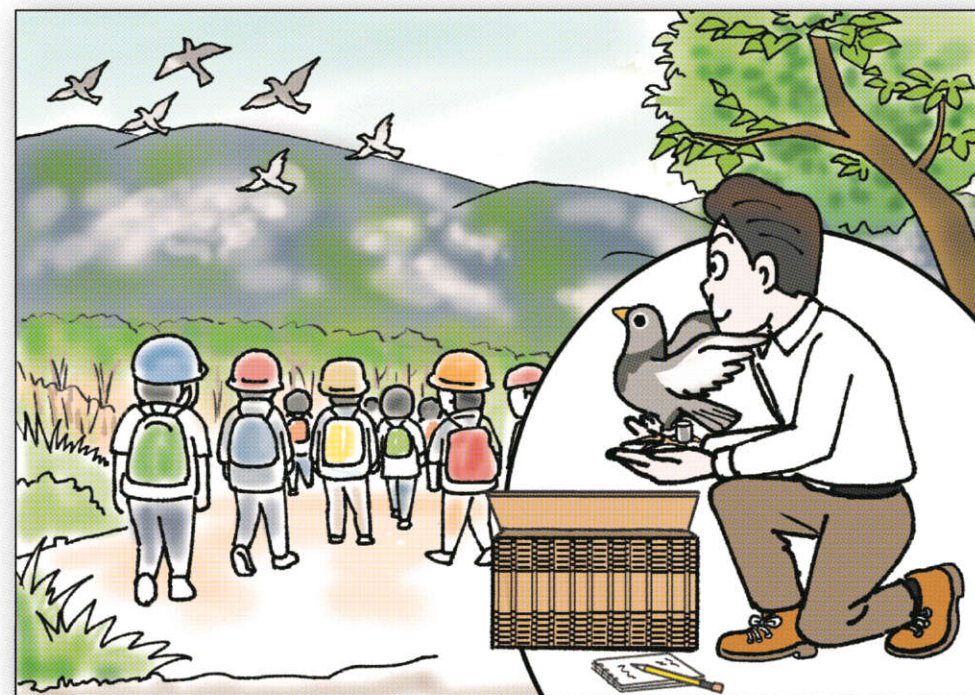


日本新聞博物館に
展示されているス
ピードグラフィックカ
メラ(同博物館提供)



鉛活字時代

昭和50年代後半まで、新聞は金属の活字で作っていた。編集局から回ってきた原稿を見ながら、文選担当者が活字を「拾い」、見出しや紙面の形に組み上げる。形も左右も反転している活字を素早く選んで組む技術は、まさに職人技だった。現在の本社には当時の鉛活字が保管されている。



伝書バト

交通手段が限られていた昭和20年代。遠隔地から記事原稿や写真を送るために使われた。本社の屋上に鳩舎を作って社員が飼育し、取材に同行する際は柳丁李やなぎざしに入れて運んだ。速報性の向上に寄与したが、写真電送機の導入に伴い役割を終えた。



本社社屋の屋上に設けられた鳩舎
(昭和20年代後半)



從軍記者

緊迫する最前線取材する従軍記者。福島民友新聞社も昭和12年、徐々に本格化する日中戦争の現場に記者を送り込んだ。若松歩兵六十五連隊が600人以上の戦死者を出した上海郊外の激戦取材した記者は重傷を負って帰国した。



県下郡市対抗駅伝競走

昭和21年から48年にかけて行われた。白河駅から福島県庁までのコースで行われた第1回大会に挑んだのは19チーム133人。5時間39分35秒で信夫Aチームが優勝した。第4回大会から県縦断駅伝競走と改称されたが、その後も「民友駅伝」「中通り駅伝」などの名で親しまれた。

明治	昭和	大正	平成	令和
28年 ▽福島友成館の身になる福島英新新聞創刊 「自由を」を印に「自由を」の創刊 心になるのは、自由を新聞の創刊者として 「自由を」の創刊者として「自由を」の創刊者として	2年 ▽紙船万号を渡る(1月) ▽宮崎友成館の身になる福島英新新聞創刊 「自由を」を印に「自由を」の創刊 心になるのは、自由を新聞の創刊者として 「自由を」の創刊者として「自由を」の創刊者として	元年 ▽紙船万号を渡る(1月) ▽宮崎友成館の身になる福島英新新聞創刊 「自由を」を印に「自由を」の創刊 心になるのは、自由を新聞の創刊者として 「自由を」の創刊者として「自由を」の創刊者として	4年 ▽田沼淳子(7月) ▽福島友成館の身になる福島英新新聞創刊 「自由を」を印に「自由を」の創刊 心になるのは、自由を新聞の創刊者として 「自由を」の創刊者として「自由を」の創刊者として	元年 ▽新天降が即座に上皇となつた(1月) ▽宮崎友成館の身になる福島英新新聞創刊 「自由を」を印に「自由を」の創刊 心になるのは、自由を新聞の創刊者として 「自由を」の創刊者として「自由を」の創刊者として



HAMADORI KOTSU



セーフティーマークは「安心」と「信頼」です。



企画手配
観光旅行

研修
視察

学校行事
クラブ活動
子供会

各種送迎

冠婚葬祭

イベント
大規模
輸送

地域と共に歩む… 総合生活産業として、地域に貢献いたします

貸切バス・ご旅行・ツアー等、お気軽にお電話・ご相談承ります。

浜通り交通株式会社

【いわき支所】 福島県いわき市自由ヶ丘3-10 Tel.0246-88-1788
 【榑葉本社営業所】 福島県双葉郡榑葉町大字波倉字原153-2





New Release

BATTERY SOLUTION

バッテリーテクノロジーで、もっと自由な未来へ。

さまざまな取り組みをおこなひながら、地域と共に歩み続けます。

いわせカーボンニュートラル
社会連携共同講座2024

子ども参観日

第8回燃料電池教室

第11回消防ポンプ車寄贈・
組校展覧会式

常盤病院DMATカー納車報告会

東洋システム株式会社
TOYO SYSTEM CO.,LTD.

横浜事業所 豊田事業所 大阪営業所

豊田評価センター(愛知県豊田市)

関西評価センター(滋賀県彦根市)

TOYO SYSTEM USA, Inc.(アメリカ・オハイオ州)

本社 / 972-8316 福島県いわき市常盤西郷町銭田106-1

TEL.0246-72-2151 FAX.0246-72-2155

**WEB
完結**

**ご来店
不要**

だいたいフリーローン

つかいみち自由！



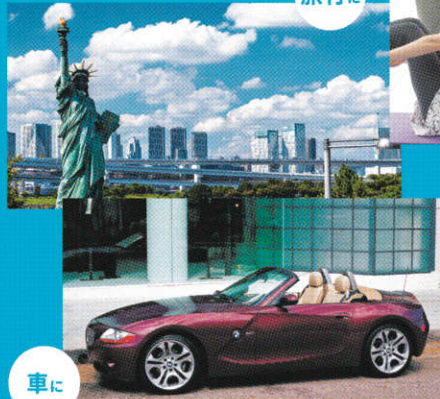
「だいたいフリーローン」は、ニーズによっていろいろな資金計画にご利用頂けます！

様々な出費などをまとめてお借り入れされた方や、他行・他社の借換をされた方にお勧めのフリーローンです。



旅行に

趣味に

車に




大東銀行

詳しくはホームページでご確認ください



だいたいフリーローン 🔍

<https://www.daitoibank.co.jp/personal/loan/free/>

◎使いすぎにご注意の上、計画的にご利用ください。
 ◎お申込みの際には、必ず貸付条件を十分ご確認ください。

(2025年4月1日現在)

私たちは常に最高の品質をお求めにさせていただきます
Security innovator

全国に翔たくキョウウグループ



Progress the future





(キョウウグループISO登録)

[報恩感謝]

グループ各社名

■ ゾーン本部

キョウウグループ本部 東京都中央区東日本橋3-12-11(アヅマビル)

北日本ゾーン本部 宮城県仙台市青葉区中央2-9-27(プライムスクエア広瀬通)

東日本ゾーン本部 東京都中央区東日本橋3-12-11(アヅマビル)

西日本ゾーン本部 大阪府大阪市中央区島之内1-21-19(オリエントル茶屋ビル)

福島本店事務センター 福島県福島市五月町3-20(協和第一ビル)

キョウワセキユリオン様 キョウワプロテック様

福島県福島市五月町3-18(協和第三ビル)
東京都中央区東日本橋3-12-11(アヅマビル)

■ 全国136か所に広がるキョウウグループネットワーク

さらなる安心・安全・快適へ。

■ ブロック支社

北日本ブロック	下野ブロック	中京ブロック
奥州ブロック	常陸ブロック	京神ブロック
東北ブロック	埼玉ブロック	関西ブロック
福島ブロック	千葉ブロック	中国ブロック
福島中央ブロック	首都圏ブロック	四国ブロック
常陸ブロック	東海ブロック	北九州ブロック
北信越ブロック	遠州ブロック	南九州ブロック

本社：東京都中央区東日本橋3-12-11(アヅマビル)
TEL.03-5652-0911(代)
本店：福島県福島市五月町3-20(協和第一ビル)
TEL.024-521-0911(代)
<https://www.kyowa-groupnet.jp>

